

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年3月31日

事業所名: 放課後等デイサービス ブLOSSAMジュニア 大塚・帝京大学  
駅前教室

対象人数(保護者)21人 回答者数 13人 回収 61.9%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	11		1	1		教室を広く使えるように、室外に片付ける物を作る。ついたて等を活用し、スペース確保をする。
	②	11		1	1		児童の特性に応じて、職員配置をしていく。
	③	12			1		段差もなく、バリアフリー化されている。運動室との療育室の境を分かりやすく表示する。
	④	12			1		保護者の皆さんに教室環境を知ってもらうため、利用後にも教室見学等を行う。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤ 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	13					
	⑥ 事業所が公表している支援 プログラム(※2)は、事業所の 提供する支援内容と合っている と思いますか。	12			1		支援プログラムを事業所HPに 掲載するなどし、保護者が いつでも閲覧できるような 方法を考えたい。
	⑦ 子どものことを十分に理解し、 子どもと保護者のニーズや課題 が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画(個別 支援計画)(※3)が作成されて いると思いますか。	13					
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、 放課後等デイサービスガイド ラインの「放課後等デイサービス の提供すべき支援」の「本人 支援」、「家族支援」、「移行 支援」で示す支援内容から 子どもの支援に必要な項目が 適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定され ていると思いますか。	12				1	
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿 った支援が行われていると思 いますか。	13					
	⑩ 事業所の活動プログラム(※4) が固定化されないよう工夫さ れていると思いますか。	13					
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との 交流や、地域の他の子どもと 活動する機会がありますか。	10			3		児童発達支援で利用している 児童館との交流を検討したい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	1	1		市や他事業所からの案内等は掲示している。 家族が参加できる研修や情報提供の場を設定できるよう、職員も準備していく。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			送迎時など、ときどき助言がある。	保護者との家族支援を定期的実施できるよう工夫し、共通したことを伝えられるようにする。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2		2		年末に交流会が一度だけできた。今後は小規模でも機会を増やすようにプログラムしたい。
	⑲ こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			2		行事予定は月ごとに配信している。HPの充実を図り、自己評価の公開場所を保護者に伝えるようにする。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			4		マニュアルを作成し、事業所HPに掲載するなどし、保護者がいつでも閲覧できるような方法を考えたい。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			1		避難訓練は行っているが、周知できていない面がある。HUGや保護者とのやり取りライン等でお知らせする。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。	11			2		安全確保の計画についても、事業所HPに掲載するなどし、保護者がいつでも閲覧できるような方法を考えたい。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いませんか。	13					
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	13					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	13					

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。